

技能評価システム移転促進(SESPP)事業
事業実施報告書【インドネシア】

- ◆2017年11月14日(火)～17日(金)
- ◆インドネシア ブカシ県チカラン工業地区
PT. K.M.K PLASTICS INDONESIA (KMK)
- ◆プラスチック成形2級評価者認定試験
- ◆プラスチック成形2級技能評価トライアル(実技試験)

平成29年12月

1. 事業の全体概要

- (実施期間) 平成 29 年(2017 年)11 月 14日(火)～17日(金)
 ①技能評価者講習(11/14～17) ②技能評価トライアル(実技試験、11/15～17)
- (実施場所) インドネシア共和国 ハブカシ県チカラン工業地区
 PT. K.M.K PLASTICS INDONESIA (KMK)
- (職 種) プラスティック成形 2 級 評価者認定試験
 ・プラスチック成形 2 級 技能評価トライアル(実技試験)
- (講 師) ・中澤 誠氏
- (受講者数) ①技能評価者認定試験 8 名
 ②技能評価トライアル(実技試験) 7 名
- (実施日程)

| 日時 | 活動名(指導内容) | |
|---|---|---|
| 11 月 14 日(火) 8:00～16:00 【評価者講習】 | <ul style="list-style-type: none"> ・開講式 ・評価者認定に関するオリエンテーション ・評価者認定試験の解説 ・トライアル試験における評価者の役割実習 ・2級技能評価トライアルの準備 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価者認定受験者に、試験の内容やポイントを解説。2級トライアルを管理深耕・採点することを通じて、評価者試験が行われることを説明。 |
| 11 月 15 日(水) 7:50～16:00 【技能トライアル】 | <ul style="list-style-type: none"> ・2 級技能評価トライアル(実技試験、午前3名) ・2 級技能評価トライアル(実技試験、午後2名) ・評価者受講者による実技試験の採点 | <ul style="list-style-type: none"> ・試験の受付から試験実施、採点までを評価者受験者が実施。評価者の役割や手法を学習し評価を受ける |
| 11 月 16 日(木) 7:50～16:00 【技能トライアル】 | <ul style="list-style-type: none"> ・2 級技能評価トライアル(実技試験、午前2名) ・評価者受講者による実技試験の採点 ・評価者受講者のチェックシート確認・面接 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き2級のトライアルを実施。 ・午後から実技試験の採点と評価者の面接等を実施 |
| 11 月 17 日(金) 8:00～11:45 【認定・閉講式】 | <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック成形 2 級実技試験合格認定 ・国家技能検定 評価者認定 ・閉講式 | <ul style="list-style-type: none"> ・2級合格者 4名(受験者7名) ・評価者認定6名(受講者8名) ※12月の学科試験に合格すればIM DIAから国家技能検定を取得 |



2. 講師講評

◆総評

- ・評価認定対象者のうち3名は以前の評価者講習において指導した経験があり残りの3名は初対面であったが3名ともトライアル1級の合格者である。3人ともBNSPの認定証を持っている評価認定対象者の2人より十分な指導を受けているようで、トライアル評価においては大きな問題点は見られなかった。
- ・プラスチック成形トライアルにおいては、成形した製品(2級はABS製10個)の製品品質評価が大きなウエイトを占める。トライアル終了後の評価となるため、評価者が製品を評価している様子を見ることなく帰国したが、今後、トライアル評価等が実施される場合には、日程を一日延ばし製品品質評価の様子が確認できるような日程計画を希望する。
- ・日本式の技能検定システムの自立運営ができるかについては、現状ではBNSPの認定者数がまだ2名と少なく、1~2回程度トライアル前に2日間の技能評価者講習が必要と考える。

◆今後の研修について

- ①インドネシアの交通事情の悪さ(渋滞)のため、受験者及び評価者の遅刻が発生し、受験時間や役割の変更等に対応した。今後の対応を検討する必要がある。

3. 受講者へのアンケート結果

【意見・感想】

- ・知識を共有し、自社でトレーニングを受けたい。次世代へ評価者の刷新をしたい。
- ・金型と射出成形機の設備のトレーニング。インジェクションレベル3,2,1のトレーニングを続けてもらいたい。インジェクション・アセッサーを増やすために、評価者のトレーニングをしてもらいたい。
- ・プラスチック・インジェクションの日本での最新技術のトレーニングを希望。
- ・次回の技術評価トライアルは日本で行われることを希望、そうすれば日本を訪れ、そこでプラスチック・インジェクションがどのように開発されているか学ぶことができる
- ・モールドショップ(機械加工)知識と経験をたくさんもらった。自分と会社のためになります。
- ・インジェクション・セッティングのトラブル分析のトレーニング
- ・プラスチック・インジェクション・レベル1。職場で役に立つ。特にセーフティ。
- ・日常の仕事にとっても役に立つ。このトレーニングの続きに参加できることを期待している。

